

# KYO wave

キョーウェーヴ

2023 SPRING



◆卷頭特集

きもの産業のコロナ禍 最終編  
「ニューノーマル(新常態)へ」

きものとデジタル

第2回 KIMONOIST  
授賞式

(キモノイスト)

FASHION CANTATA  
from KYOTO

きものサローネ 2022  
TOKYO KIMONO COLLECTION

全国和装関連企業  
売上高ランキング

## 第2回

# キモノイスト



又吉直樹

アイナ・ジ・エイド

観月ありさ

吉岡里帆

楳野智章

## KIMONOIST 授賞式 きものの日の11月15日、東京霞が関の霞山会館で開催



「キモノイスト」は「未来のキモノ」を示唆し、きものを最新のスタイルでアピール。モードファッショニエールとしてのキモノの発信を担うアイコンを実行委員会が選考し、進化する日本の伝統や文化を生活様式に写し取る新時代の生き方、楽しみ方を提案できる方に「キモノイスト」の称号を贈った。

今回の受賞者は歌手でBiSHのアイナ・ジ・エイド、サッカーJ1ヴィッセル神戸（受賞当時）の楳野智章、芸人ピースの又吉直樹、女優の観月ありさ、女優の吉岡里帆、の5人（50音順・敬称略）。受賞者はAグループ2人、Bグループ3人に分かれて登壇。トロフィーが授与され、受賞理由、着用着物の紹介が行われ、ランウェイウォーク。受賞者からの感想とトークセッションが行われ、それがキモノに対する思いなどを語った。最後は受賞者5人が揃ってフォトセッションに整列してアワードを締めくくった。

キモノイスト実行委員会は総合リストア者藤上太郎（株）三才代表取締役と天野譲滋（株）ジョージクリエイティブカンパニー代表取締役／池坊美佳、華道家／太田雄貴、国際フェンシング連盟副会長／鎌田由美子（株）資生堂シニアヘアメイクアップアーティスト他各界の著名人11人の委員で構成している。

撮影：成川佳子



京都工芸染匠協同組合

# 京友禅きもの芸術展



【経済産業大臣賞】染匠市川(株)

## 第39回工芸染匠作品展覧会

京都工芸染匠協同組合（京都市中京区六角通新町西入、竹鼻進理事長）は、10月13～15日、左京区岡崎の京都市京セラ美術館で京友禅きもの芸術展「第39回工芸染匠作品展覧会」を開催した。

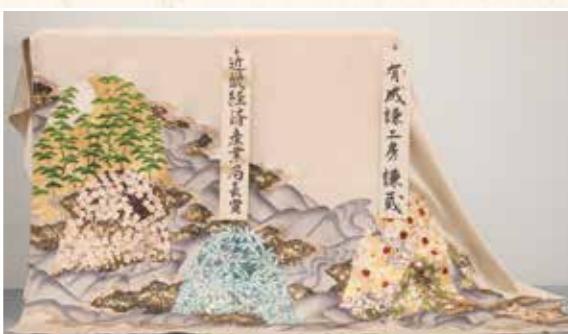
工芸染匠作品展覧会は、京友禅の技術・技法向上と宣伝に努め、本物の良さを一般に広くPRするために毎年開催。出展作品のすべてに手描友禅技法が施されているのが最大の特徴で、組合加盟の各染匠が特色あるもの作りを行い、技術を競った。フォーマル用途が主体の手描友禅業は、コロナ禍の影響で非常に厳しい状況にあるなか、この展覧会に向けて意欲的にもの作りに励み、今年も昨年とほぼ同数の76点の京手描友禅（振袖・訪問着・留袖・色留・付下げ・着尺・帯等）が出品、経済産業大臣賞に総模様部門に染匠市川、裾模様部門にあをい染所、長物着尺部門に岡山工芸がそれぞれ選ばれた他、各賞が選定された。この受賞作品24点を誌面にて紹介します



【近畿経済産業局長賞】(株)桂川染匠



【経済産業大臣賞】(株)おをい染所



【近畿経済産業局長賞】(有)成謙工房謙藏



【経済産業大臣賞】岡山工芸



【京都府知事賞】(有)成謙工房謙藏



【近畿経済産業局長賞】(有)成謙工房謙藏



【京都市長賞】に志山染匠(株)



【京都府知事賞】(有)中川正商店



【京都市長賞】木村染匠(株)



【京都府知事賞】(有)村山刺繡店

【京都市長賞】京友禅 高橋啓

【京都商工会議所会頭賞】(有)成謙工房謙藏

【伝統的工芸品産業振興協会会長賞】(株)白木染匠



【京都市芸術文化協会理事長賞】タケハナ染匠



【京都市産業技術研究所所長賞】(株)桂川染匠



【京染会賞】(株)雅染匠



【京染会賞】(株)雅染匠



【京染会賞】(株)桂川染匠



【京染会賞】(株)雅染匠



【京都新聞社賞】喜々( KIKI )



【京都織物卸商業組合理事長賞】(株)白木染匠



【染織新報社賞】藤理工芸(株)



【NHK京都放送局長賞】木村染匠(株)



【みやこ女将の会賞】(有)染の三喜



【美しいキモノ賞】染の利へ以

# 第10期 丹後きものクイーン

丹後織物振興協議会は、「丹後織物の魅力」「丹後地域の魅力」をより効果的に発信・PRしていくため、地域内外での和装・観光イベント等で活躍してもらう「第10期丹後きものクイーン」3人を選出した。

第10期丹後きものクイーンは伊東（いとう）みどりさん（北海道出身・31歳・主婦）、白須月菜（しらするな）さん（与謝野町出身・22歳・大学4回生）、中地由佳（なかじゅか）さん（京丹後市網野町出身・20歳・大学2回生）の3人。2年間の任期で着任した丹後きものクイーン3人に話を聞いた。



なかじゅか  
中地由佳さん

しらするな  
白須月菜さん

いとう  
伊東みどりさん



## ◆応募された動機は?

**伊東** 私は、二年前まで海上自衛官として十年間、舞鶴で勤務していたのですが、結婚を機に退職し、峰山に引っ越してきました。独身時代から趣味で茶道を習っていましたが、そのときは全くきものに興味がありませんでした。せつ

かく、ちりめんの产地に嫁いだのだから、きものを一人で着られるようになりたいと思うようになりました。母のきものを借りて着付けを習いはじめました。今では、二十分ほどで着られるようになりました。しかし、きものを着て外へ出かけても、誰も着ている人がいません。せつ

かく、地元で素晴らしい絹織物が作られているのに残念と思いました。

**丹後** 丹後ちりめんの美しい光沢やとろりとした絹の柔らかさ、様々な地紋の模様、そして茶席での足さばきの良さがとても大好きです。ぜひ、多くの人に手にとつてもらいたい、丹後の絹織物のすばらしさを伝えたいと思い、応募しました。

**白須** 私は幼い頃から母親にきものの魅力を教わっていたことから、元々きものに興味がありました。

実際、成人式で母が私の祖母に仕立てもらった振袖を着用した際、デザインだけではなく肌触りやシルクの香りなど、それまでに感じることができなかつた魅力に惹かれ、これを沢山の

人に知つてもらいたいと思い応募しました。

**中地** これまでに京丹後ちりめん祭などで、丹後きものクイーンの方々が活動されている姿を見て、私も華やかなきものを着て和装や丹後の魅力をPRしたいと思いました。

また、私の祖母はきものが好きで、お正月や地域の学校の入学式や卒業式など、様々なイベントでよくきものを着ていました。幼い頃からそんな祖母の姿を見ていた私は、普段着ることができない素敵なもの自分も沢山着てみたいと思いました。

## ◆きものの魅力は?

**伊東** きものは、日本人女性の美しさを最も引き立てる最高の衣装だと思っています。洋服のように様々なデザインがあるわけでもなく、どれも決まった形ですが、無駄がなく直線的なシルエットに美しさを感じます。

また、きものや帯にはたくさんの柄、模様があり、そのひとつひとつにちゃんと意味が込められています。TPOに応じたきものを選ぶことで、言葉にせずとも気持ちが伝わり、季節感を演出できます。そのさりげない奥ゆかしさがきものの魅力だと思います。

**白須** きものの魅力は、寿命が長く、何代にも引き継ぐことができることです。親が大切にしてきたきものを子が引き継ぐ際、子はものを大切にする心を学びます。

私は、祖母と母が保管していたきものを大切にし、積極的に着たいと思います。また、きものは着ることによって内面の美しさを引き出してくれます。きものを着ると動きにくいとは感じますが、その分、物を取るときや歩くときにいつもとは少し違う丁寧な動きになるので、自



然と振る舞いが美しく見えます。

**中地** きものを着る人も、きものを見る人も、き

ものに触れただけで晴れやかで明るい気持ちになれるという点がきものの一番の魅力だと思います。

また、きものは長く着ることができるという点も大きな魅力ではないのかなと思っています。私は成人式で母の振袖を着ましたが、このように世代を超えて着ることができ、思い出を共有することができるという点は、きものならではの素晴らしい魅力だなと感じています。

### ◆丹後のおすすめスポットを 二つ紹介してください

**伊東** 私は、趣味がゴルフなので丹後に来たらぜひ行ってもらいたいゴルフ場があります。それは、「久美浜カンツリークラブ」です。このゴルフ場は山陰海岸国立公園の敷地内にあり、野生の鹿もコース内にたくさんいます。海に隣接していて、名物の海越えホールのチャレンジに毎回ドキドキワクワクします。コースからは、久美浜湾が見えて景色がとてもきれいです。また、ゴルフの楽しみのひとつでもあるランチですが、ここゴルフ場はなにを食べてもおいしさです。特におすすめは、「チキンの照り焼き」



海上自衛官として働いていた頃は、海から灯りを見ていたが、はじめて近くで灯台を見たときは感慨深い気持ちになりました。この灯りが、沖を航行するたくさんの船舶を見守ってくれているのだと感動しました。

**白須** 加悦大橋と伊根の舟屋がおすすめです。

加悦大橋からは、私の地元である与謝野町の地形が一望できます。特に晴天の日と雪が降り積もった日に景色を見ながらドライブするのがおすすめです。伊根の舟屋は、歴史ある街並みと透き通ったエメラルド色の海が素敵な場所です。遊覧船に乗って、カモメに餌をやりながら伊根湾に沿って建ち並ぶ舟屋群を見るのがおすすめです。また、観光で少し疲れたらお洒落なカフェでゆっくり休憩ができます。

**中地** 一つ目のおすすめスポットは、網野町浅茂川の八丁浜海水浴場です。自宅からすぐに行

ける距離だったので、よく足を運んでいました。夏休みになると毎日のように海水浴を行つたり、広い芝生の公園があるので時間を忘れるくらい遊具で遊んだりしていました。幼い頃からの思い出が沢山詰まつた場所ですが、いつ行つても綺麗な海に心安らぐ大好きな場所です。

二つ目は、久美浜町にある「丹後ジャーニー牧場ミルク工房 そら」です。ここでは、美味しいアイスクリームやピザを食べができるのですが、特に私の気に入りは、ジェラートです。色々な種類の味があり、訪れる度に何味のジェラートを食べようか迷ってしまいます。また、ジャージー牛や羊もいるので、可愛い動物たちと触れ合つことができ、とても癒されます。興味があれば是非、足を運んでみてください。

### ◆自己アピールを

**伊東** 私は、現在11ヶ月の男の子を育てている児の母です。そのため、現在仕事を休んでいますが、主人が久美浜で「碧翠御苑（へきすいぎょん）」という旅館を経営しております、以前はその旅館で働いていました。旅館には、全国からお客様が来られ、ゆっくりくつろいでいただけます。私は、茶道を通して学んだ「人をもてなす」という心がとても大好きです。日常生活においても、

さりげない細かな心遣いを忘れず、第10期丹後さも

です。お肉が柔らかくとてもジューシー、甘辛のそれが絶品です。ゴルフをされる方、またこれからゴルフを始めてみようと思っている方は、本当におすすめしたいスポットです。

もう一つは、「経ヶ岬灯台」です。京都府最北端に位置する経ヶ岬は、丹後半島を代表する景勝地として京都百景にも選ばれています。海面からの高さ140mの断崖に建ち白く輝く灯台は、海とのコントラストがとても鮮やかです。

二つ目は、久美浜町にある「丹後ジャーニー牧場ミルク工房 そら」です。ここでは、美味しいアイスクリームやピザを食べができるのですが、特に私の気に入りは、ジェラートです。色々な種類の味があり、訪れる度に何味のジェラートを食べようか迷ってしまいます。また、ジャージー牛や羊もいるので、可愛い動物たちと触れ合つることができます。興味があれば是非、足を運んでみてください。



力、丹後ちりめんの美しさを多くの人に発信していただきたいと思います。

**白須** 私は英語でコミュニケーションを取ることが得意なので、日本人だけでなく、外国人にもきものの魅力を伝え、多くの人にきものの素晴らしさを知ってほしいです。そのため、卒業後もきものの知識を得ることと同時に英語力の維持にも努めたいと思っています。

**中地** 私は現在、大学でメディア学を専門分野にして学んでいます。このことを活かして、様々なメディア媒体を活用してより多くの方に私たち丹後きものクイーンの活動を知つていただき、私の生まれ育つた大好きな丹後やきものの魅力を伝えていけたらいいなと思っています。

特に、私たちのような若い世代の方に、きもの魅力を知つてもらい、丹後きものクイーンの活動を通して一人でも多くの方に「きものを着たい」と思つてもらうことが私の目標です。この目標が達成できるよう、常に試行錯誤し、笑顔で楽しみながら頑張っていきます。

2022

# 京都・ミスキモノ

中田安澄さん、臼井ゆいさん、山本ほのかさん、中田麻奈恵さんにインタビュー



中田麻奈恵さん、中田安澄さん、山本ほのかさん、臼井ゆいさん

2023年3月末で1年間の任期を終える2022京都・ミスキモノは、京都からきものと京都の魅力を全国に発信する役目を担い精力的な派遣活動を行った。その活動の中で人との出会いは貴重な経験となり一回りも二回りも成長を遂げた4人に1年間の派遣活動を振り返り、感想や思い出、そしてこれからきもの振興などを聞いた。



**臼井ゆい** きものの魅力をもつとたくさんの人に知つてもらいたいと思ったからです。成人式の際、きもの好きの曾祖母が私の振袖を誂えてくれました。私はその時、振袖に込められた「二十歳の私に伝えたい曾祖母の思い」を知りました。私は今でもその振袖に袖を通す度に曾祖母の大切な思いが蘇ります。このように振袖やきものには、思い出をそのまま残しておくことができる魅力があると思います。このようなきものの素敵な魅力をもつとたくさん的人に知つてもらいたいという思いが強くなり、京都・ミスキモノに応募しました。

**山本ほのか** 元京都・ミスキモノの方を見て、憧れを抱いたことから応募しました。

**中田麻奈恵** コロナ禍において、新たなことに挑戦したいと考えていたところ、京都・ミスキモノの活動を知りました。前々から、いつか妹と一緒に振袖を着たいと思っていたことや、両親の勧めがあった

## ◆ミスキモノに応募した動機は

**中田安澄** きののを着る楽しさや喜び、生まれ育つた大好きな京都の魅力を同世代の方々や国内外に発信したいと考えたからです。また、コロナ禍だからこそ何かに挑戦したいと思つてはたところ、両親から京都・ミスキモノの選考会の開催を教えてもらい、応募に至りました。

**臼井ゆい** きのの魅力をもつとたくさんの人に知つてもらいたいと思ったからです。成人式の際、きもの好きの曾祖母が私の振袖を誂えてくれました。私はその時、振袖に込められた「二十歳の私に伝えたい曾祖母の思い」を知りました。私は今でもその振袖に袖を通す度に曾祖母の大切な思いが蘇ります。このように振袖やきものには、思い出をそのまま残しておくことができる魅力があると思います。このようなきものの素敵な魅力をもつとたくさんの人にとってもらいたいという思いが強くなり、京都・ミスキモノに応募しました。

**山本ほのか** 元京都・ミスキモノの方を見て、憧れを抱いたことから応募しました。

**中田麻奈恵** コロナ禍において、新たなことに挑戦したいと考えていたところ、京都・ミスキモノの活動を知りました。前々から、いつか妹と一緒に振袖を着たいと思っていたことや、両親の勧めがあった



こと、何より、私自身がきものについて学んでみた  
いと思つたことから応募に至りました。

### ◆きものが好きになつたきっかけは

**中田安澄** 元々、姉や友人と一緒にきもので京都散策をしたり、季節の行事を楽しんだりすることが好きでした。成人式で着用するための振袖を選んだ際や前撮りを行った際に、きものの魅力により心を惹かれ、きものを着る楽しさを

深く実感したことが一番のきっかけです。

**臼井ゆい** 私がきものを好きになつたきっかけは、お琴の演奏会の際に着るきものや振袖が、私の中

でとても特別なものだったからです。私は10年間お琴を習つており、演奏会やイベントにて披露する場面が月に一回ありました。場所や四季に合わせて自らきものを選び、曲を選び、演奏会に挑んでいました。私はその頃から、きもので四季を表現することの楽しさを覚えました。春夏秋冬や年中行事などを感じさせる柄が、きものや帯に、刺繡・染め・織りなどで表現されており、きもののコーディネートの中に一つとりいれるだけで季節を表現することができるというきものの魅力に気づきました。

着ている自分も、着姿を見る周りの人も、季節を楽しむことができるきものはとても特別なものに感じ、好きになりました。

**山本ほのか** 曾祖母が京都宇治でお針子をしていました。そのせいか、幼い頃からきものを身

近な物に感じていました。そしてある日、知人の呉服屋さんできものを借りて着たことから、改めてきものの奥深さ、魅力を感じました。

**中田麻奈恵** 一番のきっかけは、きもので京都観光や季節の行事を楽しんだことだと思います。きものを着ることで、わくわくした気持ちになり、思い出に残る1日となりました。また、世代を超えて楽しむことのできる日本の伝統文化という点

においても、きものの素晴らしいを感じます。さらに、成人式で振袖を着た際、華やかな気持ちはなるとともに、大きな喜びを感じ、それを機に「振袖をたくさん着たい!」と思うようになりました。

### ◆印象に残つたイベントを教えてください



**中田安澄** 西武百貨店池袋本店で開催された京都名匠会への遠方派遣です。2日間に亘り、催事のお手伝いをさせていたいたこと、2日間限定の特別な振袖を着用させていただいたこと、多くの方々との交流が新鮮で楽しかったことなどが挙げられます。また、姉妹一緒の活動は大変嬉しく、印象に残っています。

**臼井ゆい** 私が印象に残っているイベントは「2023京都きものオーディション」のポスターの撮影です。「このポスターを1人でも多くの方に見ていただけますように」という思いを込めながら撮影を行いました。ティアラをつけるのは、3月の選考会ぶりで、その時の嬉しさと驚きの入り混じった初心を思い出すことがで



きものを着ることの喜びや楽しさを知つていただくことが大切だと思います。

### —— 中田麻奈恵



きたとともに、次へとバトンを渡す第一歩であるこの撮影に身の引き締まる思いでした。終始和気藹々とともに楽しい撮影でした。

**山本ほのか** 8月13日、陸上自衛隊中央音楽隊による「第39回 府民との音楽演奏会」での皆様のお見送りと、隊長に花束を贈呈したことです。初めての1人での活動だったため緊張しましたが、陸上自衛隊の方々とたくさんお話をしたことは、凄く楽しい思い出です。そして、その時は私の大好きな家族が初めて活動を見に来てくれました。

**中田麻奈恵** きもののステーション・京都のHP撮影です。活動の多くは振袖を着用するのですが、この日は小紋を着用しました。また、普段から自分が訪れる場所での撮影だったので、新鮮な気持ちになりました。というのも、きもののステーション・京都で実施されるワークショップに、2022京都・ミスキものの仲間や、友人と参加させていただいことがあります。思い出の詰まった場所で、いつもお世話になつている皆さまのご協力のもと撮影できたことに、感謝の気持ちと嬉しさを感じ、印象に残っています。



ていたることが大切だと思います。きものも洋服と同様に、色や柄が多種多様にあり、帯や髪飾り、バッグの合わせ方によってコーディネートを楽しむことができます。また、きものは、外に加えて内面も特別な気持ちに彩ってくれます。この度の文化庁京都移転を契機に、きものについて学ぶ機会やきものを着用するイベントが増加すれば、若い世代の方にも、きものを身边に感じていただけるのではないかと思います。

**臼井ゆい** 多様性を受け入れ「きものをファッショングの一種として楽しむ」ことが大切だと思います。

2022京都・ミスキもの活動の中で、ファッショングに参加させて頂く機会をいただきました。ファッショングでは、きものにブーツを合わせたり、スニーカーを取り入れたり、現代風にアレンジした着こなしを目にすることができました。この経験から、自分の感性に従つてきものを着る素晴らしさを肌で感じました。「きものをファッショングの一種として楽しむ」ことができると、もつときものに触れる機会が増え、きものに興味を持つていただけるのではないかと思います。

**山本ほのか** SNSが発展しているので、SNSの力を駆使するべきだと思います。SNSできものコーデを発信すると良いと思います。また、TikTokが学生の中でも最もダウンロー



ドされているので、京都・ミスキもの的存在をもつと知つてもらつたり、コーデ、活動の様子、きものの着付けなど、発信すると若い世代にきものの魅力をもつと広めないと考えます。

**中田麻奈恵** きものを着ることの喜びや楽しさを知つていただくことが大切だと思います。若い世代の方々が集まるイベントや行事で、実際にきものに触れる機会を創出することが、きもの文化の広がりへ繋がるのではないかと思う。例えば、新しいものでなくとも、既存の取組にきもの要素が加わったり、きもので参加しやすいコンテンツや特典がプラスされることで、より多くの方にきものっていいなと思っていただけると嬉しいです。

—ファッションカンタータ

# FASHION CANTATA

from KYOTO

3年ぶりに開催

和装5メゾンが2800人の観客を魅了

ファッションカンタータ開催委員会及び京都商工会議所は2022年9月11日(日)、京都劇場(京都駅ビル内)で第28回「Fashion Cantata from KYOTO」を開催した。

今回のテーマは「時の綺羅(トキノキラ)」。「時の」は良い時に会い、「綺羅」は和装文化の繁栄を願うこと解いている。コロナ禍による自粛生活から少しずつ世の中に活気が戻り、きものを着る機会も増えつつある中、ファッションカンタータの開催を待ちわびている人、初めて出会う人、和装にかかわるすべての人々に、ポジティブで晴れ晴れとした気持ちを感じてもらいたいとの思いを込めてショーが開催された。

出展メゾンは出演順に、京都織物卸商業組合から染の川勝、帯の岩田。斎藤上太郎(手探し友禅)。丹下雄介(ろうけつ染)。西陣織工業組合から西陣きもの会所属の今河織物、西陣輝光、五十嵐織物、川端、秦流舎の5社に帯地部会の西陣まいづる、洛陽織物の2社。そして最後の締めくくりは手探し友禅作家の羽田登。舞台を彩る出演者はゲストモデルに松島花、音楽はチエロの演奏でオープニングを飾った溝口肇、ミュージックシーンを伊藤ゴローのギター演奏にシガー坂本美雨が羽田登喜製作の振袖を着て歌唱、演出は映画監督で映像クリエイターの中野裕之。

撮影:富島達博



## 京都織物卸商業組合



染の川勝

帯の岩田

JOTARO SAITO  
手挿し友禅



丹下雄介  
ろうけつ染め

# FASHION CANTATA

from KYOTO

## 西陣織工業組合



今河織物

五十嵐織物



西陣輝光

川端

秦流舍

羽田登  
(手描友禅)



KIMONO SALONE 2022

# きものサローネ 2022

きものサローネ 2022 実行委員会(柴川義英実行委員長)はきものサローネ 2022「きものマルシェ・きものカーニバル」を 11月 5日(土)・6日(日)の2日間、有楽町の東京国際フォーラム Eで、ランウェイイベントの TOKYO KIMONO COLLECTION を6日(日)、日本橋の COREDO 室町テラス3階の室町三井ホールで開催した。



11月5日(土)、6日(日)  
東京国際フォーラムEで開催

## きものマルシェ



出店 144 社は多種多様で小売店、問屋、メーカー、個人ブースなどと業態の垣根はない。商品はバッグに革履にアクセサリー、カジュアルきもの、丹後の白生地、西陣織や大島紬も並

び、「モノ」「サービス」を提案した。来場者は新しいきものとの出会いに期待し訪れる。「新しい」との出会いがリピーターを飽きさせない。

主催者側から「1点は新商品・新提案をして欲しい」と出店社に要請があり、出店社はきもの新しい「コト」「モノ」「サービス」を提案した。来場者は新しいきものとの出会いに期待し訪れる。「新しい」との出会いがリピーターを飽きさせない。



、通常価格と特別価格、あるいは希望小売価格と割引価格、のようない重価格表示はしないことを申し合わせた。このような販売イベントでは本日限りの割引が付き物であるが、新しいきものを自ら探しにきている消費者に小手先の戦略は不要だった。

特筆すべきは、来場者数だ。前売り 1000円、当日 1500円の有料入場制だったが、今回の入場者数は昨年の 6500人から大幅に増え、2日間のべ 1万人。集客活動は公式 Web の発信に加え、各出店社による SNS での告知も繰り返された。来場客の 8 割以上がきもの姿。主催者

側はきもの姿で参加してくださいんて告知はしていないが、自由にきもの



を楽しむ場とし定着した。SNS で楽しむ場とし定着した。SNS で

は、自身や他人のきもの姿をアップする者が相次いだ。

2 日間で 1 万人の来場者は大成功と察するが、主催者側からは「来場者の多くはコアなきもののファンで、リピーターが中心。まったくきものに興味のない消費者を巻き込むことができれば、もっと大きな波をつくれる」と更に前向きな話が聞かれた。

この 10 年、きもの業界の劣勢が続くなかった。どうしてきものサローネは発展を遂げたのか。多種多様な商品群、新しい商品、わかりやすい価格で消費者を迎える。来場者は自由に買い物を楽しんだ。そこには事業者と消費者の商戦戦略が見え隠れせず、無理な商いもなく、来場者に向いていた。まさに消費者本位の商いが展開されていった。(本文 2022年11月25日付信)



きものサローネのもう一つの呼び物、きものカーニバルは体験コーナーの他、きもの装いの提案として数十体のトルソーによる「きものファッショナリード」が特設ステージ横に並べられた。特設ステージでは、ファッションショーやトークショー、雅楽演奏などさまざまな「ステージイベント」が開催され来客の心和む空間として演出された。また今年で4回目を重ねる「学生きもの優秀作品展」は若い感性のきものを提案し、きもの業界に新しい提案を投げかけているようにも思えた。



(第4回)

大大阪

# KIMONO MAKE AN EPOCH キモノめーかんえほっく

4月15日(土)～16日(日) グランキューブ大阪 12階特別会議場でさらにパワーアップして開催

**【参加ブランド】**  
仕立の店藤工房 / 音遊 & 和男師 / 片山文三郎商店 / きものふりく×ハイムラヤ / HATAOTO / ワタマサ・タマサ / EMON / にむどす / 黒木織物 / tresjeune / 刺繡半襟ひめ吉 / つゆくさ / HANYI\_YA / 花風庵 / Monna Lisa (エブソンデジタル捺染機モナリザ) / あづまやきものひろば / たかはしきもの工房 / 西陣田中伝 / MAYA JAPAN / Koruri / 利庵 / itsuka glass works / 多緒 / きもの遊結 / SakuSaku +・サクサクプラス / こぎん刺し朝小布 / annKogin / 社着物スタイル協会 / MIZUHO / 吉春吉 / 藤岡組紐店 / 菱屋カレンプロッソ / ハルキモノコモ / coten/RICO STYLE/kouju / ねこばん / 麻かごバッグ <うたこどを> / NEOKIMONO / ルミックスデザインスタジオ / サロンドハピネス / Shi bun no San/MEDAA,/ 金沢町屋空間凜凜 / CHIAKO / 金箔工芸 aulepus / アート裕 華り Hannari / 草木染工房ひとつ屋 / Ryujiin / トリエ (特別協力) 嵐峨美術短期大学

の楽しみはステージイベント。2日  
の楽しみはステージイベント。2日  
とができる特別な空間になる。  
キモノめーかんえぼっくのもう一つ

ライフスタイル型カジュアルキモノの可能性を探るキモノめーかんえぼっく実行委員会（大阪市中央区島町1-1-2 マルゼンボタンビル2F（株・トリエ内）寺本幸司代表）は第4回キモノめーかんえぼっくを4月15日（土）16日（日）の2日間、大阪市北区中之島5丁目3-51グランキューブ大阪12階特別会議場で開催する。

4回目を迎えるキモノめーかんえ

ぼっくのテーマは「春めーかんーきも

ので楽しも なにわの街」。場内は

ブランドショップ、メーカーなど50社

（ブランド）が集結してきものの大縁

日が繰り広げられる。会場はきもの

好きだけでなく、きもの初心者、き

ものに初めて触れる人でも終日「和」

を楽しむことが出来る空間になつてい

る。そして、この日はきものの作り

手と使い手（消費者）が触れ合うこ



○キモノめーかんえぼっく実行委員会  
TEL 06-6585-0335

ジユールは調整中で、公式ホームページや Facebook、Instagram、Twitter など公式 SNS で確認していただきたい。

大学の特別協力を得て、学生たちがきものへの新しい提案を行うスペースが設けられる。なお、イベントスケ

席」、「カジュアルお茶席」、パーソナルカラー診断、フォトブースなどが開設される予定。また、嵯峨美術短期

ノブランディング・ファッショニショーンなどさまざまなイベントが開催される。さらに、「カジュアルお茶席」、「パーソナルカラー診断、フォトブースなどが開設される予定。また、嵯峨美術短期





# 東京キモノショー 2023

22会場で同時開催。サンライズビル、綿商会館、田源ビル、ブルーミング中西ビルをメインに3月24日(金)、25日(土)、26日(日)

一般社団法人きものの未来協議会(中野光太郎代表理事)、東京キモノショー実行委員会(中野光太郎実行委員長)は「東京キモノショー2023」テーマ~「きものタイムカプセル」を3月24日(金)25日(土)26日(日)の3日間、東京日本橋のサンライズビル、綿商会館、田源ビル、ブルーミング中西ビルの4会場をメインに日本橋人形町界隈のサテライト会場18か所、合計22会場で同時開催する。時期は桜の開花が進み日本橋はきものと桜の美の共演が見られることだろう。



産地の職人さんや作家さんと直接コ  
ンタクトを加えたきものがずらりと並  
ぶ。さらに今回は会場に足を運べない  
きものファンにweb上で観覧できる  
3D-VRサイトも用意している。  
和マルシェは綿商会館の3階から  
6階の4フロアに80店が出店。ショッ  
ピングでの買い物はもちろん、各

会場で開催。今年は客席を多く  
取り本格的なショーが楽しめる。メ  
ディアによる新作発表や来場者参加の  
ステージ、和の芸能、ゲストトーク  
ショーなど3日間12ステージが予定  
されている。

ミュニケーションが取れる数少ない機  
会だ。毎回話題になっている複数流  
派の茶会が今年も開催され、ブース  
訪問の一息つくことが出来る。



今回も開催前に42ページ建ての東  
京キモノショー公式ガイドブック  
5万冊を1月22日から発行してい  
る。公式ホームページからPDFを  
ダウンロードすることも可能。  
東京キモノショーメイン4会場へ  
の3日間、共通入場料は前売り  
1,000円。当日1,500円。  
お得な前売券は23日23時59分まで販  
売。掲載QRコードから購入が可  
能。詳しくは公式  
ホームページまで。



東京キモノショーのメインコンテンツ  
であるキモノスタイル展はサン  
ライズビル2階のグリーンホー  
ル全体を使用して120点の  
作品が並ぶ。今年の東京キモノ  
ショーのテーマ「きものタイムカ  
プセル」に沿って、キモノスタイ  
ル展は「ネオ昭和レトロ」と「リ  
アルでダイナミックな昭和」が展示  
のサブタイトル。昭和にたどり着く  
までの大正から戦前のきものから昭  
和の一流デザイナーが作ったDCブラ  
ンドのきもの、そして懐かしさを掘  
り起こし、再構築して令和のコーディ  
ネートを加えたきものがずらりと並  
ぶ。さらに今回は会場に足を運べない  
きものファンにweb上で観覧できる  
3D-VRサイトも用意している。  
和マルシェは綿商会館の3階から  
6階の4フロアに80店が出店。ショッ  
ピングでの買い物はもちろん、各



# 京都・ミスキモノ

京都きもの  
オーディション2023

午前  
の部



岡井美桜名さん 田中里桜香さん 月生樹里さん 永峰穂乃香さん 澤村日菜さん 仙元里奈さん 荒田恵見さん 松山沙璃さん 久保友子さん

和装関連7団体で構成する京都きものオーディション開催委員会（高田啓史会長）は12日（日）、京都経済センター6階会議室で和装振興と観光行事やレセプションにおいてきもの姿アテンドできる優秀な人材を発掘、育成を目的に「2023年京都・ミスキモノ」を選出する「京都きものオーディション」を開催した。昨年11月27日に行われた第一次選考会には府内在住、通勤・通学する未婚女性を対象に77人が応募し、書類審査73人が参加して面接と公開オーディション（ウォーキングとボージング、ショートコメント）で審査が行われ、午前と午後の2回の審査会で各10人合計20人が選ばれた。（選考後1人の辞退あり）入賞者は、きものや帯に関する知識、着付けやきものの扱い方等6テーマから成る研修を受講し、本選考会に臨んだ。

一次選考会入賞者に本選考会に向けての意気込みや抱負を聞いた。

## 午前の部

◇久保友子さん（24歳アルバイト）

丹後ちりめんで有名な京都府京丹後市出身の久保友子です。この度きものについて学べる機会をいただけ光榮です。この学びを通してたくさんの方々に京都やきものの魅力を伝えたいのはもちろんのこと、自分自身が1人の女性として成長できればいいなと思っています。

◇澤村日菜さん（20歳学生）

素敵な先生方や関係者の皆様、同じ想いを持つ仲間とのご縁に感謝し、きものに関する正しい知識や、きものを愛する者としての心得を身につけたいと思っております。そして、「きものの魅力と京都の良さを自分の言葉で相手の心に届けたい」という思いを胸に、ミスキモノに相応しい女性になれるよう精進して参ります。

◇岡井美桜名さん（20歳学生）

きのものについて深く学べる素敵な機会を頂けたことに感謝致します。貴重な経験を楽しみながらも、研修会を通してきのものや京都の美しい文化について学び、自分の言葉で発信できる力を身につけていきたいです。ミスキモノとしてふさわしい女性になれるよう精進して参ります。

和装関連7団体で構成する京都きものオーディション開催委員会（高田啓史会長）は12日（日）、京都経済センター6階会議室で和装振興と観光行事やレセプションにおいてきもの姿アテンドできる優秀な人材を発掘、育成を目的に「2023年京都・ミスキモノ」を選出する「京都きものオーディション」を開催した。昨年11月27日に行われた第一次選考会には府内在住、通勤・通学する未婚女性を対象に77人が応募し、書類審査73人が参加して面接と公開オーディション（ウォーキングとボージング、ショートコメント）で審査が行われ、午前と午後の2回の審査会で各10人合計20人が選ばれた。（選考後1人の辞退あり）入賞者は、きものや帯に関する知識、着付けやきものの扱い方等6テーマから成る研修を受講し、本選考会に臨んだ。

一次選考会入賞者に本選考会に向けての意気込みや抱負を聞いた。

◇松山沙璃さん（20歳学生）  
生まれ育った伝統ある京都で、このような貴重な機会を頂いたことに感謝いたします。きものや京都の魅力をより多くの方に伝えできるように、教えて頂いた知識や想いを自分の言葉で発信できる力を身につけたいです。この選考会や研修でのご縁を大切にし、日々精進して参ります。

◇仙元里奈さん（20歳学生）  
この度大好きなきものについて学ぶ機会を頂くことができ、嬉しい気持ちと感謝の気持ちでいっぱいです。今までただきものを着ることが好きだけでその歴史や文化などの知識がありませんでした。これから研修会を通して自信を持つきものの魅力を伝えられる人になりたいと思います。

◇月生樹里さん（20歳学生）  
私は、20歳に母から受け継いだ振袖と共に本選考会に参加できること、新たな挑戦ができるのことをとても嬉しく思っております。研修を通して、きものの知識や京都の魅力を学ぶとともに、女性としての内面の美しさも磨いていきます。普段では経験することのできない貴重な機会を頂けたことに感謝し、精進してまいります。

◇田中里桜香さん（21歳学生）  
きのものについて深く学ぶことができる貴重な機会をいただき、誠に感謝しております。洋服が主流である現代、そして次世代にどのようにきものを伝えていくかを考えていきたいです。選考会で出会った18人の仲間達とのご縁を大切に、本選考まで精進してまいります。

◇永峰穂乃香さん（21歳学生）  
この度はきのものを学ぶ貴重な機会を頂けたことに感謝いたします。京都が誇るきものの文化を日本、世界へ発信する存在となれるよう本選考会に挑む仲間と共に楽しみながら、精進して参りたいと思います。

## KYOTO KIMONO AUDITION

午後の部



扇谷萌愛さん 菅尾彩夏さん 亀山愛夏さん 川島和さん 石田杏奈さん 河淵朱香さん 高田櫻子さん 宮田葉滴さん 中野晶さん 長谷川玲美さん

## 午後の部

◇長谷川玲美さん（23歳会社員）

悠久の歴史を持つ京都できものについて奥深く学ぶ機会をいただけたことに大変感謝しております。この貴重な経験から学んだ知識をしつかり身につけ、きもの伝統を守り続ける京都と深く向き合って、日本だけでなく世界にも発信できるよう仲間と共に精進してまいります。

◇河淵朱香さん（24歳会社員）

私の大好きな京都できものについて学ぶことのできる貴重な機会を頂きとても嬉しい感じております。幼い頃から着付けは母に、ヘアセットは伯母にてもらつてきました。今回も沢山の方々に支えられて頂いた貴重な機会なので、感謝の思いを忘れず、本選に向けて一生懸命楽しんでまいります。

◇石田杏奈さん（24歳学生）

日本を代表する歴史や伝統文化のあふれるこの京都で、きものについて学ぶ機会を頂けたことに感謝いたします。本選考に向けて研修会の先生方や関係者の皆様方のお力を借りしながら、自分らしいきものの姿を見出し、きものの魅力を沢山の方々に発信できるよう精進したいと思います。

◇川島和さん（20歳学生）

両親に勧められて応募した京都・ミスきもの選考会でしたが、きものを着て街中を歩く度に多くの人から注目され文化を継承する役割を担うことの出来る喜びを感じました。友達と出掛ける時などに、

気軽に自分で着付けができた素敵だと思いますし、せっかく京都に住んでいるなら自分できものイベントを計画出来たら楽しそうです！

敵な女性に成長し、さらに皆様に発信できるよう全力で務めます。

◇菅尾彩夏さん（21歳学生）

この度、きものについて学べる機会をいただけたことに感謝いたします。

私は、大学で西陣絣という伝統工芸の職人さんと出会い、10年後・1000年後

にきもの文化を継承していくにはどうすればよいのかと考えるようになりました。

研修会では、きもの文化を学び、魅力を伝えるために精進いたします。

◇扇谷萌愛さん（23歳会社員）

「和」を感じられる町京都で、きものについて学ぶ機会を頂き大変感謝しております。私は海外留学の経験から日本文化の魅力を再認識し、それを多くの人々に発信したいという強い想いを持っております。研修ではきものや京都の歴史について学び、本選考に向けて仲間と共に精進して参ります。

「きものに惹かれる人が国籍・世代を問わず1人でも多くなるように。京都が、きもの文化で再び活気を取り戻せるように。」この想いを胸に、また活動に関わる全ての方へ感謝の心を持ち、活動に取り組んで参ります。

◇高田櫻子さん（18歳学生）

日本の女性を最も美しく魅せ、世界中の方々が知る日本文化の代表である、きものについて深く学ぶことができる機会を与えて頂いたことに感謝致します。初めてきものを着た時に感じた喜び、ワクワク感を忘れず、そして、きものの魅力を世の中に正しく発信できる女性になれるよう、ひたすらに学んでいきたいです。

◇宮田葉滴さん（21歳学生）

日本の文化を纏うことが出来るきものについて深く学ぶことができる機会を与えて頂いたことに感謝致します。初めてきものを着た時に感じた喜び、ワクワク感を思います。また、貴重な経験を共にできる方々に出会えたことに感謝しております。

◇亀山愛夏さん（21歳学生）

日本の文化を纏うことがあるきものについて深く知れる機会を頂きとても嬉しく思います。また、貴重な経験を共にできる方々に出会えたことに感謝しております。

